

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、腎臓小児科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 小児腎移植後の新規ドナー特異的抗体(*de novo* DSA)陽性例の検討

[研究対象者] 2018年1月～2021年12月までの間に、腎臓小児科で腎移植を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、既往歴、併存疾患名、検査結果(血液検査、ドナー特異的抗体検査、HLA検査、腎生検)、腎移植の内容(生体腎移植か献腎移植、先行的腎移植であったか)治療内容、治療経過

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

移植腎廃絶の主な原因の一つに抗体関連型拒絶反応があります。この原因は新規ドナー特異的抗体(*de novo* DSA)が体内で産生されることであることが判明しています。しかし現在のところ日本の小児腎移植患者において*de novo* DSAの陽性率や陽性者の治療経過の報告はほとんどありません。この研究では東京女子医科大学で治療された小児腎移植患者の*de novo* DSAの陽性率を調査し、陽性者の特徴を明らかにすることを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2026年3月までの間(予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 部署名 腎臓小児科 職名 教授 氏名 三浦 健一郎

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 部署名 腎臓小児科 氏名 三浦健一郎

電話：03-3353-8111 (応対可能時間：平日9時～16時)